

研究・教育推進のためのスローガン 「CREATES」

工学研究院・副研究院長（研究担当） 馬場 俊彦

近年の国立大学では、学生世代の人口減少により毎年、文部科学省からの運営費交付金が減らされ、それに伴って教職員が削減されています。一方、社会状況を反映し、コンプライアンス対応の業務は大幅に増加しており、一人で様々な仕事をこなすが必要になってきています。また研究を行うために競争的研究費の獲得が必須となり、教員はその申請に追われています。教育では、講義の実施、シラバス、評価の厳格化により、負担が大幅に増えています。また高度な教育を推進する競争的プログラムへの応募にも時間が割かれ、仮に採択されても報告書作成などでさらに多くの作業が待っています。つまり、研究や教育を実施するための機関である大学において、研究や教育の中身が一番後回しになりかねない、という懸念すべき状況を生まれつつあります。

そこで、研究院長の諮問機関である研究企画経営会議では、上記の作業を効率化し、大学が本来、行うべき研究と教育を重心に置き直すためにはどうすればいいかを議論してきました。そのような中で生まれたのが、最先端研究の拠点形成を目指す工学研究院・理工学府のスローガン：

CREATES (Campus for Research Excellence on Advanced TEchnology and Science)

- 最先端の科学技術に関わる教育研究を行う世界拠点を創る（先進性）
- 横浜・京浜地区に貢献する実践的な教育研究の拠点を創る（実践性）
- 国際的な学術論文等により研究成果を国内外に広く発信する（国際性）
- 教員、学生、男女、国籍を問わずこれに参画するキャンパスとする（開放性）



※「C」をモチーフとし、先端的研究拠点として柔軟に進化・発展していく組織体をデザインしたものです。色は大学のブルーと理工系の緑の融合です。

です。実際、工学研究院では、世界をリードする研究成果が毎年のように生み出されています。このような状況を、全ての教員と学生が共有し、それを誇りに感じ、大学の内外に発信すると共に、さらに充実した研究環境を皆で作りに上げていくことを目指す、これが**CREATES**です。

このスローガン創設に合わせ、分野の垣根を超えて教員が研究紹介を行う**CREATES**フォーラム、活発な研究者同士の情報交換の場とする**CREATES**懇談会、修士大学院生による学術論文を顕彰する**CREATES**論文賞を設立、実施してまいりました。また、全ての教員からポートフォリオデータを定期的に収集して、最新の論文リストを公表し、特に重要な研究トピックスにフォーカスする形で、工学研究院のWEBを一新しました。このポートフォリオデータは、全学の教育研究活動データベースや、科学研究費の審査資料となるリサーチマップへ自動的に反映されるようにし、教員の煩雑な作業を簡素化しています。

このような取り組みを継続することで、研究教育の中身を充実させ、皆で世界を目指す雰囲気が本研究院に醸成されることを期待しています。